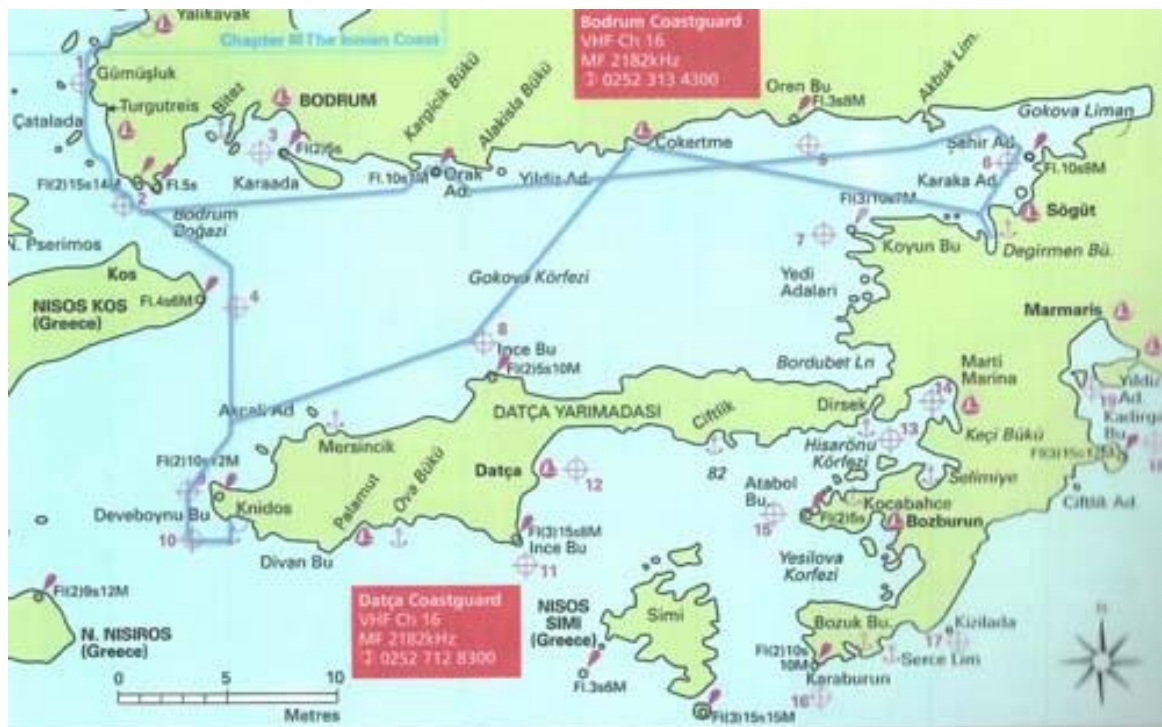
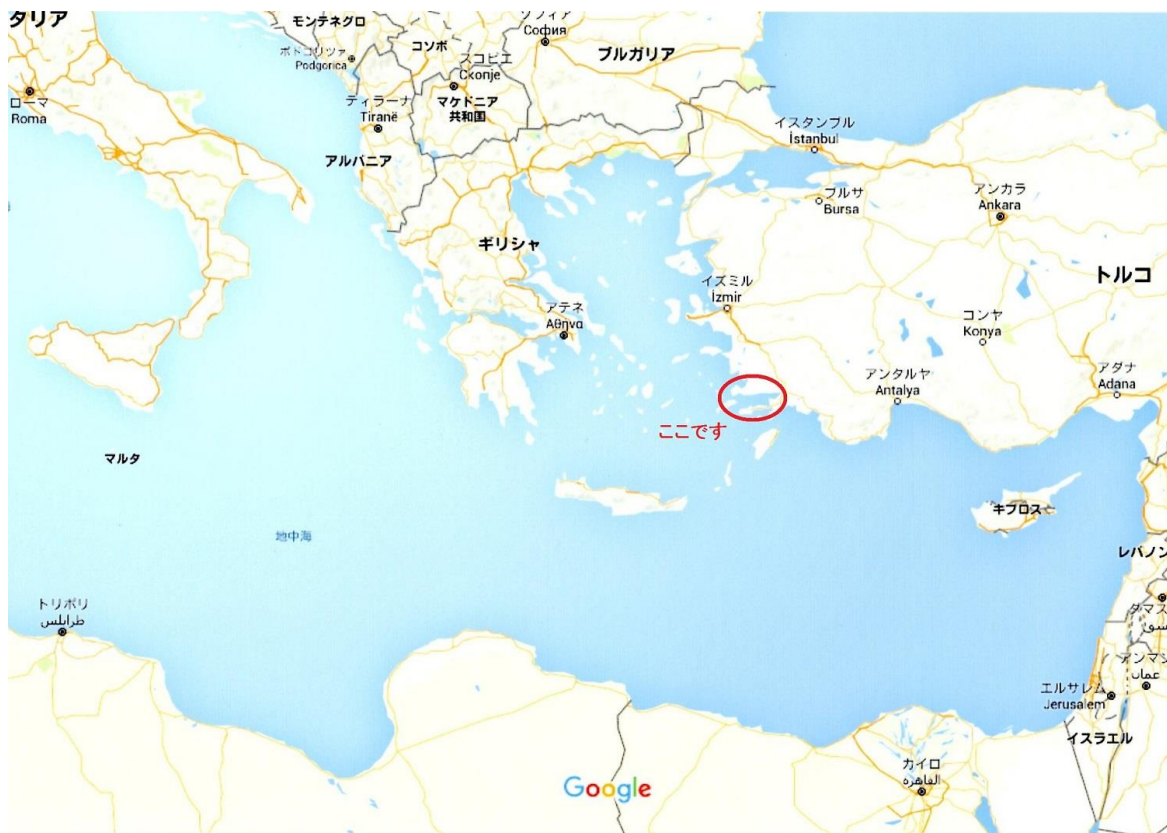


今年の ISPA(International Sail and Power Association)の研修は、東エーゲ海にあたるトルコの南にある Gokova 湾の sailing に行ったので報告します。

*トルコの東側は大変危険ですが、私達が行った南西部は平和です。



9.18 金 日本関西空港～Istanbul～Bodrum

am5 時過ぎ Istanbul 着、ここで入国管理ですが、同じ美人顔をした（理由はわかりますよね）韓国の若い女

性4人グループ、隙があればすぐに横入りしようとする中国のおばさん達、イスラム系、アフリカ系の民族衣装のおばさん達などがひしめき合っています。トルコは好きな国で入国5回目ですが食べ物も美味しく良い所です。am9時過ぎに飛行機を乗り継ぎ、11時過ぎに Bodrum 着。Bodrum は日本ではあまり知られていませんが、夏のエーゲ海リゾートとしても有名な所で、欧米のヨット乗りにも人気があり、秋になると季節風”Meltemi”が弱まり sailing には best season です。私も、ここは10年前にも1週間くらいいたことがあり、Hotel check in して町へ。海辺の公園には難民が暮らしています。ここは、トルコ→Kos 島（ギリシャ領）→ドイツなどに渡る中継点でもあるのです。昼間は暑いので、beer（トルコ語で Bira）、wine でも飲んでゆっくりして、夕方から昨年アドリア海に一緒に行った Tさんと食事、beer 飲んで町を散策して寝る。



9.19 土 Bodrum ~Yalikavak

今回は、私達のヨット師匠 Bob さん、東京在住で悠々自適のヨットマン K さん、“舵”にカナダ、ヨット遊学の記事を書いている W さん、元お好み焼き屋で現在日本の有名な C 時計の韓国 CEO H さん（以前、小戸にヨットを置いていたことあるというので知っている人もいるかもしれません）、カナダで、同じくヨット遊学中の“舵”にも少し顔を出す車屋の T さん、英語、中国語べらべらの休職中国際ビジネスマン、ヨットのあとはギリマンジャロに登るという登山靴持参で参加の O さん、船大好きで船エンジニアになったけど、現在会社のクレーム係をしている A さんと私という、Yacht 好きだけが共通のバラバラの8人での1週間の合宿です。mini bus に乗って Bodrum から 30 分位の Yalikavak へ出発。Yalikavak は元は普通のヨットハーバーだったのですが、数年前アラブの Azeli Oil Billionaire が買い取り、Superyacht marina に作り変えたという所で、周りは 100ft~ の mega yacht だらけで私達がレンタルした Beneteau 47.3 ft.などは普通の大きさという culture shock!の所でした。まずは買い出しですが、高級スーパーマーケットしかなく、全て高級、値段高め！ 必需品の beer、wine、野菜等買い込んで、ちょっとその日はレストランで顔合わせ+Bob さんの?歳の Birthday Party して、翌日に備えました。

* cruising 中は 1room/2 人が原則ですが、おっさん（今回はおばさんも一人いましたが）2人で同じ部屋というのも…。というので、皆好きな様に寝ます。今回は Bob さんハンモック、H さんその下の table+sofa 組み直した bed、私と O さんは外 cockpit で寝袋、後は部屋、雨が降った時（1日だけありました）は、しかたなく 1room/2 人で寝ました。時期的に蚊も来ないので、ドジャー、ビミニトップあれば外で快適です。



9.20 日 Yalikavak ~ Knidos 晴れ／曇、南～南東、10～15 knot

Cruising 中は原則自炊です。日本出発前に Bobさんから持ってくる食物の分担連絡 mail が回ってきて、それ＋自分の好み、お勧めを持って行きます。私もそば＋濃縮つゆの指令あり、それに他の諸々、今回は鶴の子（通常＋秋バージョン）を持って行きました。インスタントは絶対禁止で、米も船で炊き、肉、魚も焼きます。

depth meter が時々効かなくなると言う不安は少しあったが、10:40 Yalikavak 出発。今回私達が回る予定の Gokova 湾を横断して、ギリシャ領である Kos 島（ヒポクラテスの生まれた島）に近づかない様にして Knidos 目指す。近づきすぎると捕まります。Knidos は Datca 半島の先端にある紀元前 4 世紀から栄えた文化都市の遺跡で現在改修中です。まず、anchoring の研修、深さ 8～10m(地中海、エーゲ海、アドリア海は干満の差 30cm 位です)なのでそれに合わせてチェーンを出し、効いているのを確かめてから stern line を岸の大きな石に抜けない様にして巻いて、それをまた持って来てクリート留めします。船が安定したのを確かめ、陽も沈みそうなので遺跡見学は明日にして、夕食は H さんが作ったカレーライスとサラダ、もちろん beer、wine あります。H さん、さすがに元お好み焼き屋、料理も上手い！明日の Knidos 遺跡見物と明日の予定（航路）を”Navionicus”（←有用です）を使って立てて寝る。



9.21 月 Knidos ~ Cokertome 晴れ／曇、南～南東、10～15 knot

Knidos は 5 年前に今回の少し南の海域を回った時に寄ったのですが、来るのが不便だというのが幸いしてか？今回も以前とあまり変わってなく、私としては懐かしく嬉しかったです。朝食後、Bob さん鉄則の“歩く”という研修の一環で、ひたすら歩き回る。10:50 出港、Cokertome を目指す。ここには Captain Ibrahim というちょっと有名なレストラン？があり、ここで夕食を食べるとポンツーンに止めるのは無料、シャワーも浴びれます。この東約 5NM に高さ 300m の火力発電所の煙突があり。これのちょっと西を目指して sailing です。午後 2 時頃、到着、Captain Ibrahim の従業員が舳をとってきて、ちょっとしょぼいポンツーン（これが後

で問題に...) に到着、思い思いにシャワー浴びたり、beer 飲んだりゆっくりして過す。スターボー側に London から来たご夫婦、ポート側はアメリカからの 3 人連れ、ラグビーで日本が南アフリカに勝った事を聞き、皆喜ぶ。夕方までに 5 艇が並び、夜は Captain Ibrahim で魚中心に wine 飲みまくって、雨風強くなっているので、明日の朝の天気で行動を決める事にして、まず寝る。



9.22 火 Cokertme Captain Ibrahim ~ Cockertme 沖, 雨, 南, 30~35 knot

朝、雨風強くなり、Cokertome 滞在を決め、暇でもあり、午前は歩いて隣町(約 4.5km) のスーパーマーケットまで買い出しに行く。ほとんど登り道でちょっときつかったけど、到着。10 坪位のショボイ店でちょっと拍子抜け! 表にはおっさん達がたむろしてトルコ麻雀? みたいな事をしており、変な東洋人が来たと注目の的です。パン、お菓子等無難な物を買って帰路へ、帰りは下りなので楽でしたが、雨がパラつき始めたので途中の喫茶店? にコーヒーを飲みに入る。絨毯を織っているおばさんもおり、顔がトルコ系の O さん中心に雰囲気だけで会話(もちろん英語も通じない)、なんとかなるもんです。船に戻ってゆっくりしているうちに南からの波、風が強くなり、従業員がかいがかいしく anchor を増やしているのを見ていたら、ポンツーンを止めていた金具(もともとかなり錆びていた)の 2 個のうち 1 個が壊れ、従業員に言っても大丈夫! というばかり。ここで Bob さんはヤバイと思いエンジン始動(こういう時こそ Life Vest 着用です!), 当然ですがすぐに他の金具も壊れてポンツーンはバラバラになり、隣のアメリカ艇とその隣は衝突。Bob さんがラット握って無事沖に出て、湾の東で anchoring の場所を探していると、Captain Ibrahim の太ったおっさん(Owner?) がボートで来て、anchoring はここが良いぞ、stern line 取ってやろうかと憎めないのです。無事 anchoring を終わり、H さんが、昔取った杵柄のお好み焼きを作り(さすが元プロ、美味!), wine 飲んで、anchoring watch しながら夜も更けたのでした。



9.23 水 Cokertme 沖 ～ English Harbor (Okluk) 晴れ、南、10~15 knot

anchor を上げて、ポンツーンがちょっと寂しくなった Captain Ibrahim に寄って氷、食料を仕入れて English Harbor と呼ばれている Okluk に向かう。13:30 頃到着。割と有名な所なので、船は 30~50 艇位いる。昨日の嵐で座礁した船もあり、昨晚の嵐の厳しさを痛感。ここも食事をレストランですれば停泊は無料、時間はたっぷりあるので散策、隣村まで行って、途中のスーパーマーケット（これも 30 坪位はあるが、品揃えは??）、幸運にも肉、卵があったので購入。表に止めてあったトラックに“OTOSAN”と書いてあり親しみを感ずる。（トルコ財閥／Ford の合併会社だそうです。）夕食はレストランで小皿料理＋グリルした魚（スズキ?）＋wine、大変美味しい。ここは 5 年前に、そばの Datca という港町で会ったグランドバンクスで地中海を回っていた I さん（日本人）ご夫婦からも聞いていた店で、従業員も I さんを良く知っていて話が出来、親しみを覚える場所でした。食べきれなかったスズキを翌朝飯のため持ち帰って、翌日の計画を立てて寝る。



9.24 木 Okluk ～ Snake and Castle Island ～ Orak Island 晴れ 東～南東 10~15

朝ご飯は、昨日の残りのスズキまぜ飯、美味！ 8:50 出港、Snake and Castle Island に向かう。ここはアンソニーとクレオパトラが住んでいたといわれる島（調べた人がいて、本当は違うという説が強い）で、浅いのでテンダーで向かうも 13:00 開園? ということで断念。anchoring の練習になる所という事で Bodrum の東にある Orak Island を選び観音開きの練習をしながら sailing. 14 時過ぎ到着、南からの風を遮る地形で水もきれいだが子供が泳いでいてなかなか anchoring できない！（気を使えよ！） やっと anchor 打って、stern line した所で続々と船が来る、皆考えている事は一緒なんですね。隣にいた漁船からカマス?を買って来て、Bob さんが stern でさばいてグリル、夕食の main dish にする。旨い！ Cruising もあと少しになったので、残った wine を飲んで夜がふける。



9.25 金 Orak Island ～ Torguitreis ～ Yalikavak

船を 9.26 土の 9:00 までに返却という事で、今日は母港 Yalikavak を目指します。その前に Torguitreis という

ヨットハーバーで燃料を満タンにして（レンタカーと一緒に）、Pumping station で溜まった排泄物をきれいにしないといけません。トルコの決まりで（他の国でも一般的、日本ではまったくなし）排泄物は Tank に溜めておき、返却前にここで最後の締めの cleaning をします。この海域では、“Blue card” というカードの購入が義務づけられ、これで Pump-out の check をします。それだけ観光の資源である海を大事にしているという事でしょう。見習うべきだと思いました。値段は一回 1500 円位、そこのおじさんが日本に行った事があるという事で Pump-out しながら談笑、トルコは親日家が多いです（その理由については割愛）。15 時頃 Yalikavak 到着。皆でランドリーに行ったり、mega yacht 見ながら散歩したりしてゆっくりして、今夜は最後の夜という事でちょっと豪華な夕食で夜も更けていきました。



9.26 土、Yalikavak ~ Bodrum 晴れ 南～南東、10~15 knot

朝 9:00 Rental yacht の agent が来て、不具合、破損箇所 etc. check。私は、そんなに沢山の会社を知っている訳ではありませんが、ここは friendly で大変好印象でした。一旦 Bodrum に戻り、再度夜は中華料理でお別れ会。A さんは仕事のため早く帰国、Bob さんら 4 人は Croatia での（私も去年参加した）Beneteau Rally 参加、そのため分担して、そば、うどん等食料の運び屋になります。K さんは一旦イタリアへ、O さんはキリマンジャロ登山へ（無事、登頂出来た mail が届いていました）、私は Istanbul にちょっとだけ寄って 9.28 博多に帰って来ました。



以上、エーゲ海 sailing&navigation 研修の報告でした。今回も操船と考え方、ヨットでの食事、運動の大事さ、全ての面で自分の未熟さを痛感した sailing でした。しかし、有意義な 1 週間でしたので（友達も増えたし...）また参加したいと思います。

* “舵 ” 12 月号に W さんの記事が載る予定ですので、ぜひあわせて読んで下さい。

（文責 Summertime 牧 信哉）